

貸借対照表

学校法人 角川学園

令和8年3月31日現在

資産の部

(単位:円)

科 目	金額	備 考
有形固定資産 小計	2,320,461,237	
土地	1,062,404,219	
建物	1,043,441,752	
建物付属設備	97,515,604	
構築物	47,523,824	
教育研究用機器備品	12,891,103	
管理用機器備品	22,685,386	
車両	33,999,349	
船舶	0	

その他の固定資産 小計	1,435,492,543	備 考
電話加入権	152,400	
施設利用権	1,092,496	
有価証券	637,591,652	
出資金	16,948,756	
保証金	677,740	
保険積立金	0	
長期貸付金	279,029,499	
退職給与引当預金	100,000,000	
設備充実引当預金	400,000,000	

流動資産 小計	1,191,434,064	備 考
貯蔵品	43,646,350	
現金預金	896,195,151	
短期貸付金	0	
前払費用	6,890,532	
前払金	639,100	
未収入金	87,514,519	
仮払金	13,871,699	
預け金	142,676,713	
資産の部 合計	4,947,387,844	

負債の部

科 目	金額	備 考
固定負債 小計	593,881,766	
退職給与引当金	123,491,766	
長期借入金	470,390,000	
流動負債 小計	499,612,941	
未払金	12,848,372	
未払法人税	2,122,300	
前受金	461,801,538	
預り金	15,835,228	
仮受金	7,005,503	
負債の部 合計	1,093,494,707	

純資産の部

科 目	金額	備 考
第1号基本金	1,446,991,534	
第2号基本金	400,000,000	
基本金 小計	1,846,991,534	
当年度収支差額	82,978,208	
前年度繰越収支差額	1,923,923,395	
繰越収支差額 小計	2,006,901,603	
純資産の部 合計	3,853,893,137	
負債及び純資産の部 合計	4,947,387,844	

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

I 資産の部		(単位:円)	
	勘 定 科 目	金 額	
1 固定資産	合 計	3,755,953,780	
	有形固定資産 計	2,320,461,237	
	土地	1,062,404,219	
	建物	1,188,481,180	
	車両運搬具	33,999,349	
	教育研究用什器備品	12,891,103	
	管理用機器備品	22,685,386	
	その他の固定資産 計	1,435,492,543	
	無形固定資産	1,922,636	
	出資金	933,569,907	
	設備充実引当預金	400,000,000	
	退職給与引当預金	100,000,000	
	2 流動資産	合 計	1,191,434,064
		現金預金 計	896,195,151
その他の流動資産 計		295,238,913	
未収入金		87,514,519	
前払費用		7,529,632	
仮払金		156,548,412	
貯蔵品		43,646,350	
資 産 合 計		4,947,387,844	
II 負債の部			
	勘 定 科 目	金 額	
1 流動負債	合 計	499,612,941	
	未払金	14,970,672	
	預り金	15,835,228	
	前受金	468,807,041	
2 固定負債	合 計	593,881,766	
	長期借入金	470,390,000	
	退職給付引当金	123,491,766	
負 債 合 計		1,093,494,707	
正 味 財 産 合 計		3,853,893,137	

事業活動収支計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:円)

	科 目	金 額
教育活動収支	1 学生等納付金収入	824,195,429
	2 手数料収入	5,040,800
	3 寄付金収入	19,746,871
	4 補助金収入	43,412,500
	5 補助活動収入	212,762,983
	6 雑収入	1,488,259
	教育事業活動収入 計	1,106,646,842
	1 人件費支出	493,420,656
	2 教育研究経費支出	379,458,585
	3 管理経費支出	177,034,955
	教育活動支出 合計	1,049,914,196
	経常収支差額	
教育活動外収支	教育活動外収入 計	20,047,592
	教育活動外支出 計	0
	教育活動外収支差額	20,047,592
特別収支	特別収入 計	6,197,981
	特別支出 計	11
特別収支差額		6,197,970
基本部の基本金	基本金組入前 当年度収支差額	82,978,208

学校法人 角川学園

令和7年度(自:令和7年4月1日 至:令和8年3月31日)

事業報告書

1. 法人の概要

(1)当学園の令和7年度学生数は次のとおりです。

募集課程	学生数(名)
一級自動車科	186
自動車科	790
同 10月期生	39
ボディクラフト科	28
合計	1043

2. 事業の概要

(1)事業概要

令和7年度の春の高校卒業生92.9万人のうち、専門学校等への進学者は172千人で前年よりも5千人減少しております。専門学校を志望する生徒が微減しており、卒業生数の最も多かった平成4年に比較すると少子化の影響により高校卒業生数は当時の58%となっており、本学園を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

しかし、本学園においては、時流に合った魅力のある学園作りと積極的な募集活動を行っており、生徒数は前年を上回り1,000人を超える生徒数となっております。

生徒の就職活動についても積極的に支援活動を行うことにより就職率100%を達成することができました。

また、本学園の教育目的に向け、教育設備の充実及び教育環境を整備し、本学園生の教育に資するとともに、地域貢献の一環として本学園の教育施設を活用し、民間企業の従業員や地元高校生向けの実習を行ってまいりました。

(2)本年度の主な事業

イ みやぎクラフトマン21事業

宮城県経済商工観光部と連携し高校生対象の自動車構造技術講習及び宮城自動車産業の企業向けの自動車基礎研修を行いました。

ロ みやぎカーインテリジェント人材育成センターとの連携

宮城県自動車産業振興室と連携し、みやぎカーインテリジェント人材育成センター主催による大学生、専門学生及び工業系の高校生を対象に自動車機能構造及び電子制御の講習を行いました。

ハ トヨタ自動車東日本学園との連携

トヨタ自動車東日本学園訓練校の分室として学園生を受け入れし自動車構造の実習を行いました。

ニ 日本自動車車体整備協同組合連合会との連携

車体連合会による自動車板金塗装整備工場及び県内高校生、本校学生を対象にして講習会を実施しました。年々進歩する自動運転車へ搭載するカメラやセンサー類の点検調整などの実演講義もありました。

今後も連合会と協力し業界の認知向上を図るとともに魅力をアピールし、生徒の確保・育成に力を注いでまいります。

ホ 東京オートサロン2026に出展

13回目の出展となる東京オートサロン制作車両は昨年と同様に三菱自動車工業株式会社から新型ミニキャブEV

(電気自動車EKバン)を提供して頂いてのタイアップ出展となりました。

会場での注目度が大きく、制作メンバーの学生達の自信となっていました。また多くの雑誌やテレビ新聞、SNSなどにも大きく取り上げられるなど高評価をいただきました。

へ 自動車メーカーや販売会社との連携

世界では完全自動運転車など販売される中、新技術に対応した授業を展開するため、自動車メーカーや販売会社からの車両や部品の提供、それを使用した教職員の研修などを実施しました。

ト 国家試験改訂に伴う新プログラム

今年度(令和7年度)から開始された新2級国家試験(2級自動車整備士総合)に向けたカリキュラムが始まりました。更に令和9年度から開始される新1級国家試験(1級自動車整備士総合)に向けてのプロジェクトチームを結成し対策を開始しました。

チ 文部科学省からの通達による単位制への変更

令和8年度より文部科学省からの要請により、授業時間履修制度から単位制への移行改正が省令となり、本校も学則変更を行いました。

リ 企業と連携による入学生の確保


現在、企業奨学金制度、社員派遣制度、奨学金返済支援制度などを活用し日本人入学生の確保をしております。留学生に対しても企業奨学金制度を活用する企業を募集開始しました

監査報告書


令和8年5月15日

学校法人 角川学園
理事長 角川重博 殿

監事

黒澤 徳治 

監事

高橋 健治 

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に務めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

- (1) 理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。
- (2) 会計監査については、収支計算書、貸借対照表、財産目録、固定資産明細表、借入金明細書、人件費支出内訳表を基に各金融機関の残高証明書、証拠書類等と照合した。

2 監査の結果

- (1) 全ての計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものとみとめます。
- (2) 理事会議事録の内容は相当であると認めます。また、理事の職務の執行についても指摘すべき事項は認められません。